

## 平成 29 年度 研究計画書

Research Plan FY2017

講座名・職名 Course Title・Job Title	ヨーロッパ・アメリカⅡ講座 准教授
氏名 Name	松本健二
専門分野 Academic Field	ラテンアメリカ文学

### 平成 29 年度 研究計画 (ホームページで公開) Research Plan FY2017 (Post on Website)

主たる研究テーマ Principal Research Subject	チリのポスト軍政期文学の挑戦—：スリータとエルティッツの文学に関する総合的研究				
研究計画 (400 字～500 字で記入すること。) Research Plan (Approximately 100 Words)					
<p>上記科研 (2017～19 年度) の開始年に当たって以下の調査を進める。ラウル・スリータの第一詩集『煉獄』はロゴタイプや装丁に意匠を凝らした特殊な初版があり、それも含めた先行研究等、傍証資料の整理を行なう必要がある。具体的にはチリ国立図書館アーカイブ等で実地調査を行ない、そこで得られた資料を見ながら軍政末期にスリータがいかなる創作姿勢をとっていたかを考察のうえで、論文化する。ディアメラ・エルティッツについては既に入手済みの小説テキストを読解する作業を進めると同時に、軍政期の芸術家集団 CADA で彼女がどのような役割を果たしていたのか、そうしたパフォーマンスと小説作品との関連性などを考察したうえで、論文化する。これらの成果については関係する学会、研究会等で随時公表し、チリ文学、海外現代詩等の隣接する分野の研究者とも情報交換に努める。</p> <p>翻訳についてはパブロ・ネルーダの Canto general. を年度内に完成させる予定で、科研の調査と並行してチリ詩の全体像を明らかにすることを目指したい。</p>					
共同研究可能な分野 Research Fields feasible for joint research *1	ヨーロッパ 文学	英米・英語圏文学	文学一般	地域研究	美術一般
キーワード Keywords*2	チリ	現代詩	現代美術	ラテンアメリカ	前衛